

日本口腔顔面痛学会会員各位

平成 23 年 10 月 11 日(火)

日本口腔顔面痛学会 平成 23 年度第一回セミナー  
神経障害性疼痛診断のための定量感覚検査

日時:平成 23 年 11 月 6 日(日)10:00-16:30

会場:大阪大学歯学部弓倉記念ホール(大阪大学吹田キャンパス)

参加費:3000 円 (\*希望者昼食代 1000 円)当日徴収

企画の趣旨

神経傷害後の病態は、近年研究が進んでいるとはいえ、いまだ明らかでない点が多く存在します。歯科領域では、医原性の下歯槽神経、舌神経、頬神経損傷に伴う感覚障害の報告が増えており、看過できない状態になっています。しかしながら、末梢神経傷害の診療を行う上で、病態の客観的評価の基準となる検査方法がなく、病態診断ならびに治療効果の判定は、個々の臨床医または診療施設の基準によって評価されています。最近、ヨーロッパを中心に感覚障害における病態診断のための定量感覚検査を規準化して共通の診断基準に則った評価を行おうという流れが起こってきました。本セミナーでは、この定量感覚検査に焦点を当てて検討を行います。

プログラム

受け付け開始:10:00

1. 10:30-12:30 DFNS-QST ハンズオンセミナー&解説

日本大学歯学部 野間 昇、今村佳樹

12:30-13:15 昼食

2. 13:15-14:15 “Quantitative Sensory Testing from the bench to the bedside”

University of Medicine and Dentistry in New Jersey Prof.Eli Eliav

14:15-14:30 休憩

3. 14:30-16:30 シンポジウム 口腔領域の QST

座長:大阪大学歯学部 矢谷博文、慶應義塾大学医学部 和嶋浩一

- 1) 機械的定量感覚検査:東京医科歯科大学歯学部 小林明子
- 2) 温冷刺激定量感覚検査:大阪大学歯学部 石垣尚一
- 3) 電流閾値検査:九州歯科大学 椎葉俊司
- 4) DFNS-QST の口腔領域への応用:岡山大学歯学部 松香芳三

参加登録締め切り:10 月 31 日(火)

申し込み・問い合わせは、noma@dent.nihon-u.ac.jp (電話 03-3219-8099)まで

\*当日は日曜日のため、会館の周囲には昼食をとる場所がありません。ご希望の方には昼食は当方で準備いたしますので、数量把握のため、事前登録をお願いいたします。